

Case Study

KYOWA KIRIN

アバナードが、協和キリンのグローバル戦略を支える海外子会社のERP基盤の構築、運用保守を支援

協和キリン株式会社

Case Study

協和キリンのグローバル戦略を支える海外子会社のERP基盤の構築、運用保守を支援



左：廣瀬 拓生氏 右：山本 将紀氏

「海外子会社でオンサイト構築体制が組めるアバナードのグローバルでの対応力を評価しました。マイクロソフト製品に対する豊富な知見に加え、アジャイル的な開発手法により不要なカスタマイズを最小限に押さえつつ、スピーディーな構築が可能になりました」

協和キリン株式会社
ICTソリューション部長 廣瀬 拓生氏

「運用上の疑問が生じるケースがある場合、アバナードは単なる問い合わせ対応だけではなく、解決したいことを先回りサポートしてくれました。時にはドキュメントを作るなどし、同様の問題が生じないような改善提案も行って頂き大変助けになりました」

協和キリン株式会社
ICTソリューション部 エンタプライズソリューショングループ 山本 将紀氏

グローバルで統合された経営基盤としてのERP導入、運用マネージドサービスを提供

【背景】

日本発のグローバル・スペシャリティファーマを標榜する協和キリン。2025年までの中期経営計画では、グローバル戦略を柱に、2021-2025中期経営計画において継続的な成長を目指しています。同社ICTソリューション部長 廣瀬氏は、グローバル戦略の中でERP（基幹システム）の整備は重要なテーマで「様々な業務をグローバルで標準化し、オペレーションを変革していこうとしている」と話します。

海外での売上比率が高まる一方、北米やアジア太平洋、EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）などの地域では業務オペレーションを支えるITインフラ整備が急務でした。「これまで海外の各地域ではそれぞれ会計システムを中心に最低限の機能のシステムでマネジメントを行っていたため、海外のグループ会社の販売、経営の状態がリアルタイムにつかめない状態だった」と廣瀬氏は述べ、これをグローバルで、ワンプラットフォームで管理できるように整備する必要がありました。

そこで、グローバルでERP導入を進めようとして「2019年頃からプロジェクトを進めてきた」（廣瀬氏）ということです。具体的には「北米については、欧州の販社の仕組みを借りる形で運用しており、これを早急に新たな基盤へと刷新する必要があった」と廣瀬氏は説明します。

また、アジア太平洋については「シンガポールに統括拠点を置き、権限を移譲するとともに、地域全体で統合管理可能なERPの導入が必要な状態」（廣瀬氏）でした。

そして、EMEAについては「ビジネスも、ITシステムも異なる会社を買収した経緯があったため、独立、分断していたITシステムを統合基盤に移行することが課題だった」と廣瀬氏は話しました。

このように、各地域でそれぞれ分断していた海外グループ会社の事業運営を支えるERPシステムを刷新することになったのです。

【ソリューション】

ERPとして選ばれたのが、Microsoft Azure上で稼働するSaaS(Software as a Service)型の「Microsoft Dynamics 365 FO (Finance and Operations)」です。廣瀬氏は、選定理由の一つとして「クラウド化へのシフトはテクノロジー面でのチャレンジでもあった」と話します。すなわち「クラウドファースト潮流の中で、基幹業務システムや各業務システムにSaaSを積極採用し、ITインフラをサービスモデルに移行していく」ことです。

そしてMicrosoft Dynamics 365 FOの選定は「ビジネス規模にあったコストとユーザビリティの高さ」が決め手となりました。

同社ICTソリューション部 エンタプライズソリューショングループ 山本氏は「特に、海外グループ会社の中にはMicrosoft Dynamics GPを利用していた会社があり、親和性が高かったことに加え、クラウドIaaS(Infrastructure as a Service)としてMicrosoft Azureを積極活用していく部分との親和性も評価した」と述べます。

ERPの導入は、北米、アジア太平洋、EMEAの各エリアのうち、まずは「新規で導入がしやすい」（廣瀬氏）アジア太平洋をターゲットに2019年の6月頃から開始されました。並行して緊急度の高い北米での構築も進め、最後に、最も規模の大きなEMEAにおける「現行のERPからの移行プロジェクト」が、2020年後半からフィジビリティスタディなどの準備を経て、2021年から本格的にスタートしました。

そして、アバナードがEMEAにおける構築パートナーとして参画したのもこの時です。廣瀬氏は「構築パートナー選定の有力候補に当初からアバナードは入っていた」と話します。

2020年以降のコロナ禍を経て状況が変化していく中で「リモートで海外の複数の構築プロジェクトを並行で進める必要があり、EMEAでの構築フェーズで、オンサイトで構築体制が組めるアバナードに提案をお願いした」と経緯を話しました。

廣瀬氏はアバナードを選定した理由として、グローバルにおける対応力に加え「マイクロソフト製品、特にクラウドのMicrosoft Dynamics 365 FOに対する構築実績、ノウハウや知見を豊富に有している点」を挙げます。

構築時に注力したことについて、山本氏は「EMEAでは既存のERPからのリプレイスだったため、旧システムで実現したい機能を新システムでも実現したい」との要望が現場にはあったと話しました。しかし、パッケージの仕様になるべく業務プロセスを合わせ、カスタマイズを最小限にすることが前提としてありました。

「アバナードには、カスタマイズを抑えつつ、業務要望に答えるための解決策の検討を重ねる目的で、モックアップを作り、担当者に体験してレビューしてもらうことで仕様を固める」アジャイル的な開発アプローチを採ってもらったということです。こうした早い段階でエンドユーザーを巻き込みながらのアジャイル的なアプローチにより、不要なカスタマイズを最小限に押さえつつ、スピーディーな構築が実現でき、さらに結果として「導入後のシステムの理解度はEMEAが最も進んでいた」（山本氏）という副次的な効果も得られました。

Case Study

協和キリンのグローバル戦略を支える海外子会社のERP基盤の構築、運用保守を支援

【成果】

EMEAにおける構築と並行して、アパナードはグローバルにおけるERP運用のマネージドサービスのパートナーとしても参画しています。

これは「アジア太平洋と北米とあわせ、ワンストップでの運用をアパナードに依頼した」（廣瀬氏）もので、上述したようなアパナードのグローバルにおける対応力に加え「EMEAでの現地のユーザー業務部門のサポートに相談的な形で参画してもらう経験を通じ、当社のビジネスへの理解が進んできた」ことなどから、海外グループ会社全体の保守を担当することになったものです。

また、山本氏は「運用上の疑問が生じるケースがある場合、アパナードは単なる問い合わせ対応だけではなく、こちらが課題に感じていること、解決したいことを先回りサポートしてくれる」と話します。時にはドキュメントを作るなどし、同様の問題が起きて困らないようなサポートや、改善のための提案も行ってくれるということです。

グローバルでのMicrosoft Dynamics 365 FO導入の効果について、廣瀬氏は「グローバルでのシステム、業務の標準化が進み、システム投資の最適化が実現できた点」を挙げます。これまで地域ごとに業務プロセスが異なっていたものが「同じプラットフォームで標準化されたことで、国内の本社でコントロール可能な状態になり、プロセスやデータの統合管理が可能な基盤が整備された」（廣瀬氏）ということです。

山本氏は、これまでは海外各社が別々のシステムを使っていたため「経営状態の把握のために、本社の財務経理部が必要なデータはそれぞれの会社にExcelなどにまとめて提出してもらう運用だった」と話します。

導入後は、同じプラットフォームから本社側で「取得、活用していく運用が可能になった」ということです。今後は、財務経理だけでなく、サプライチェーンについても、グローバルで需給バランスを最適化した供給計画を立案できる体制が整備されたのが大きなポイントだということです。

廣瀬氏は、今後について「次は日本国内におけるERP基盤の統合を進め、グローバル全体でサプライチェーンの最適化と経営管理の高度化を実現することが課題」とし「データ活用についてもグローバル全体で一元化されたデータ活用基盤を整備していきたい」と抱負を述べます。

アパナードについては「マネージドサービスについて、提案型の、かつコスト最適化したサービス提供の部分でさらなる提案をお願いするとともに、グローバルで一元化されたデータ活用基盤整備にも支援をお願いしたい」と、グローバルの戦略パートナーとしての役割にさらに期待したいということです。

協和キリン株式会社

1949年（昭和24年）設立。「ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します」の経営理念を掲げ、日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、独自の抗体技術をはじめ多様な創薬技術を駆使し、画期的な新薬を生み出す研究開発に日々挑んでいます。

ウェブサイト：<https://www.kyowakirin.co.jp/>

アバナード株式会社
〒106-6009 東京都港区六本木1-6-1
泉ガーデンタワー
電話番号: 03-6234-0150
ウェブサイト: <https://www.avanade.com/ja-jp>

【アバナードについて】

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムにおいて、革新的なデジタル、クラウド、アドバイザリーサービス、各業界向けソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを提供するリーディングプロバイダーです。26カ国、60,000人のプロフェッショナルなスタッフが、顧客、その従業員、またそのお客様に、素晴らしい体験・影響という“真のヒューマン インパクト”を日々もたらしています。

アバナードは、親会社のアクセンチュアと共に、マイクロソフトのGlobal SI Partner of the Yearを他社よりも多く受賞しています。また、最も多くのマイクロソフト認定資格 (60,000以上) と18のゴールドレベルのマイクロソフト技能を持ち、企業の成長と困難な課題の解決を支援する稀有な企業です。私たちは従業員を第一に考え、誰もが自分らしさを発揮できるインクルーシブな職場環境の提供に尽力しています。また、責任ある企業として持続可能な世界を構築し、恵まれない環境にある可能性を持った若者の支援もしています。

アクセンチュアが筆頭株主であり、2000年にアクセンチュアとマイクロソフトによって設立されました。

*記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。



Do what matters